

品川区教育委員会会議記録

平成21年 第7回 臨時会

場 所 教育委員室
期 日 平成21年6月24日
開 会 午後2時00分
閉 会 午後3時15分

出席委員	委 員 長	徳岡 壽夫
	委員長職務代理者	安尾 久子
	委 員	細川 珠生
	委 員	市川 信之助
	教 育 長	若月 秀夫
欠席委員		

出席職員	庶務課長	田村 信二
	学務課長	富田 祥子
	指導課長	冠木 健
	小中一貫教育担当課長	和氣 正典
	品川図書館長	小川 陽子

議事運営および 委員長、教育長報 告事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 署名委員に細川委員、市川委員を指名。 ・ 報告事項 2「事務局職員の休職について」を品川区教育委員会会議規則第 16 条の規定に基づき、非公開の会議とする。
-----------------------------	---

件名	日程第 1 報告事項 1 校舎改築事業の進捗状況について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員 D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三日野小学校や第一日野小学校は特に外溝工事に時間がかかっているが、なぜか。 <p>(委員 E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荏原第六中学校のプロポーザルにおいて、(株)梓設計が選定された理由等について説明されたい。 <p>(委員 C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一日野小学校の教育複合施設とは具体的にはどのようなものか。また、教育複合施設と校庭は 8 月から利用開始とあるが、何年の 8 月からか。
事務局説明	<p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三日野小学校は元々学校の裏手にかけて坂になっており、正門のレベルまで切り下げる工事が必要である。また、人工芝や校庭の下の工事等もあり、外溝工事が通常よりも大規模なものとなっている。第一日野小学校についても同様に敷地が傾斜地であるため大規模な工事となっている。 ・ 荏原第六中学校のプロポーザルにおいて(株)梓設計が選定された理由は、区内業者であるということや、コンパクトな中で機能が充実しており、近隣への影響が出にくい計画であったからである。工事内容については、通常地下を造成する場合、有害物質が地下から出てきたり、掘った土の搬出も伴うことになるが、(株)梓設計の計画では大幅に地下を造成することがないためこのような負担もなく、また、日影を生じさせないなどの近隣への配慮もなされていた。このような点を総合的に判断したうえ選定した。また、校舎は仮設校舎を設けるのではなく、新校舎が完成してから移る計画である。 ・ 第一日野小学校の教育複合施設とは、教育センター、文化センター、図書館、幼保一体施設である。同校の教育複合施設と校庭の利用開始は平成 22 年 8 月からである。
委員意見要旨	(委員 B) ・ 天然芝には期待している。メンテナンスは大変だが、子どもたちは喜ぶのではないか。
議事結果	了承

件名	日程第1 報告事項2 事務局職員の休職について
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は人事に関する案件のため、品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき、非公開の会議とする。

件名	<p>日程第1 報告事項3</p> <p>平成 21 年度「通学区の弾力化」に関するアンケート調査結果について</p>
担当課説明等	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員 E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校外授業とかふれあい授業があることで、学校を選んだケースはかなり少ないのではないかと。また、学校の特色は、習熟度別学習などに表れると思うが、実際にはこれが学校選択の結果に反映していないと思われるが、このような結果についてどのように考えるか。
事務局説明	<p>(小中一貫教育担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特色ある教育活動も学校ごとに異なる。習熟度別学習についても、それぞれの学校でやり方が違う。学校の個性を踏まえてやるべきであると考え。 親の授業参加を既に実施している学校がある。拡大するようにしていきたい。 <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校公開について期間限定でないようにするにあたっては、教員、地域等全体のレベルアップを図る中で対応する状況を作っていきたい。これに対応できる力をつけるよう学校を指導していきたい。
委員意見要旨	<p>(委員 C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校ごとにかなり個性があることが見受けられる。 平均的には、4分の1位が私立に行く選択をしている。学校によってばらつきがあるのは、一体型の選択がある関係でやむをえないと思う。 学校公開は、授業に緊張感を与え、教師も授業を工夫することになり、力がついてくると思う。 授業風景のテレビ放映については、いろいろ問題があるので直ちには難しいと思う。 <p>(委員 A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の特色について、教育委員会が学校にどんな指導をしているのかが見えない。いくつか具体例を出してピーアールすべきである。 学校選択について、地域が壊れるという人がいるが、明確な根拠はない。データからは、地域の学校に戻りつつある。 学校公開については不満である。期間限定の現状については、いつでも誰も見られるようもう一度公開のあり方を考えなくてはならないと思う。理想は、いつでもということだが、ただ、期間限定であっても回数を増やして欲しい。これは一つの住民サービスであるし、これによって、教師の指導力も高まると思う。 学校公開と関連させて言えば、市民科では本来家庭でやるべきものを学校でやっている。親を授業に参加させ、そのことを親自身に気付かせたい。親の授業参加については、テレビ等でもっとピーアールすべきだ。 <p>(委員 B)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の各学校は、昔とは違い、努力して色々なことをやっている。地域と連携していい味を出せるよう指導してもらいたい。
議事結果	了承